



# 生きもの調査 報告書2008

2008年8月28日 天気：雨

場所：静岡県富士宮市 管理者：木の花ファミリー

調査メンバー：メダカのがっこう、木の花ファミリー

木の花ファミリー 圃場		
多様性調査	出現種数	種名
トンボ目 黒：トンボ類 青：イトトンボ類 赤：ヤンマ類	6種 4種 1種 1種	シオカラトンボ、マユタテアカネ、ミヤマアカネ、ウスバキトンボ、アジアイトンボ、ギンヤンマ
水生カメムシ	3種	コマツモムシ、ヒメアメンボ、ケシカタビロアメンボ
水生甲虫	5種	ヒメゲンゴロウ、チビゲンゴロウ、コガムシ、ヒメガムシ、ゴマフガムシ
蝶	10種	ベニシジミ、ヤマトシジミ、モンキチョウ、スジグロシロチョウ、キアゲハ、ヒメジャノメ、ツマグロヒョウモン、キタテハ、タテハチョウSP（黒に白帯）、ウラギンシジミ、アオスジアゲハ
蜘蛛 黒：造網性 青：徘徊性	8種 6種 2種	ドヨウオニグモ、アシナガグモ、ヤサガタアシナガグモ、シロカネグモSP、サツマノミダマシ、造網性SP(灰色に白点)、アズチグモ、コモリグモSP
貝	4種	ヒメモノアラガイ、ドブシジミ、リクモノアラガイ、キセルガイ

雨の日に60種類以上、翌日の晴れ間に20分ほど歩いただけで更に20種弱が見られ、80種類以上が田んぼと畦周りで確認された。これは非常に多いといえる。東日本では赤トンボといえばアキアカネ、ナツアカネ、ノシメトンボがよく見られるが、ここで確認された赤トンボは、ウスバキトンボ、ミヤマアカネ、マユタテアカネだった。イトトンボがあまり見られなかったのは、稲が育ち、株間に飛び交うスペースが少なかったからだろう。水生昆虫も含め、水面が上空から確認できる5～7月の様子も見てみたい。

クモはドヨウオニグモが優占種として幅をきかせ、網でイナゴやウンカなどを巧みに捕らえていた。1株当たり2匹も棲んでいるので、畑同様クモの活躍に助けられている。

生きもの調査担当：林 鷹央



マユタテアカネ



アズチグモ

撮影：児玉有貞（上下とも）